

# 豊前市立小中学校の学校規模適正化及び適正配置に係る説明会資料

## 1. 児童生徒の推移

	2005	2010	2015	2022(令和4年度)		2028	2040
	平成17年度	平成22年度	平成27年度	級数	児童数	令和10年度	令和22年度
八屋小	270	236	199	12	254	131	88
大村小	39	17	12	6	30	30	18
宇島小	189	206	189	11	212	158	97
角田小	111	86	71	6	63	47	35
山田小	132	120	84	7	75	33	25
千束小	186	239	159	8	164	162	103
三毛門小	293	323	274	10	211	178	104
黒土小	175	153	143	8	123	103	69
横武小	86	77	64	8	59	32	24
合岩小	60	50	59	6	62	18	14
	<b>1541</b>	<b>1507</b>	<b>1254</b>	<b>82</b>	<b>1253</b>	<b>892</b>	<b>577</b>

	2005	2010	2015	2022(令和4年度)		2034	2040
	平成17年度	平成22年度	平成27年度	級数	生徒数	令和16年度	令和22年度
八屋中	230	224	207	8	224	143	116
角田中	68	47	42	4	28	26	21
千束中	300	275	268	8	176	157	135
合岩中	51	40	48	5	44	8	8
	<b>649</b>	<b>586</b>	<b>565</b>	<b>25</b>	<b>472</b>	<b>334</b>	<b>280</b>

## 2. 学校施設の現状

	校舎				体育館					
	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)
	西暦	和暦				西暦	和暦			
八屋小	1978	S53	4,300	41	37	1985	S60	915	34	40
大村小	1987	S62	1,969	32	59	1954	S29	231	65	45
宇島小	1982	S57	3,326	37	68	1983	S58	805	36	40
角田小	1968	S43	1,988	51	40	1994	H6	755	25	77
山田小	1977	S52	1,740	42	37	1995	H7	756	24	75
千束小	2001	H13	2,500	18	100	1999	H11	784	20	67
三毛門小	1984	S59	3,162	35	65	1986	S61	846	33	65
黒土小	1992	H4	2,168	27	67	2003	H15	800	16	81
横武小	1990	H2	1,951	29	62	2008	H20	704	11	81
合岩小	1997	H9	2,504	22	72	1997	H9	769	22	65

	校舎				体育館					
	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)
	西暦	和暦				西暦	和暦			
八屋中	1982	S57	4,607	37	65	1988	S63	1,139	31	65
角田中	1981	S56	2,033	38	59	1989	H1	970	30	75
千束中	1980	S55	4,386	39	82	1987	S62	1,101	32	77
合岩中	1982	S57	2,138	37	62	1993	H5	951	26	77

出典：豊前市学校施設長寿命化計画（令和2年3月）

## 3. 学校規模の適正化に関する経過

- 平成17年11月 豊前市立学校通学区域審議会において 答申「中学校を1校に統合することが最善・旧築上中部高校跡地を用地に推薦」
- 平成27年2月 豊前市立学校通学区域審議会において、平成17年度答申を白紙に 角田小・中は小中一貫校、合岩小・中は小規模特認校として推進を図る
- 令和元年6月 学校規模の適正化に関する検討会議(仮)の設置・協議開始
- 令和元年7月 豊前市教育委員会会議・豊前市総合教育会議において 豊前市「教育みらい」検討委員会の設置の承認及び確認
- 令和元年8月～ 令和2年1月 豊前市「教育みらい」検討委員会 第1回～5回 開催
- 令和2年3月 豊前市「教育みらい」検討委員会 提言書 『豊前市の目指すべき教育の姿と学校の在り方』
- 令和3年10月 豊前市 方針 『豊前市立学校適正配置基本方針』

### 豊前市の現状と課題

- 現在1学年200名以上いる子ども達が、近年では150名規模となっている状況にどう対応するか
- 建築後30～50年経過している14校すべての校舎等の維持管理また十分な教育条件整備のための 予算確保が極めて難しくなっている

これからの目指すべき教育とそのための学校のあり方とは

行きたい・行かせたいと思う『選ばれる学校』京築ナンバーワン・オンリーワン教育の 具現化のため 学校規模の適正化・適正配置（学校再編）が必要

## 4. 学校再編成の考え方

- 1) 特色ある学校づくりから ～「子どもが行きたい、保護者が行かせたい」という学校づくり～
  - ・ICT環境やALT等の配置を充実させ、情報活用能力や外国語能力を確実に育てる学び
  - ・個々の児童生徒の実態に応じた特別支援教育の充実
  - ・従来の6・3制の枠にとどまらない「9年間を通しての教育」小中一貫教育の考え方
- 2) 地域コミュニティの核としての学校づくりから
  - ・従来の「校区・地域」という概念を超えた新しい「地域」の枠組みで、家庭・地域が一体となって 子どもたちと関わり育てる関係づくりを学校運営の基軸にすえていく必要がある
- 3) 学校の適正規模から
  - ・小学校では12～18学級程度、中学校では10学級程度の規模（少なくともクラス替えが可能で、一定の教職員数がそろう）
  - ・小規模校のよさを活かし、9年間できめ細かい指導を可能とする環境を併せて整備
- 4) 学校施設の活用の可能性から
  - ・厳しい財政事情では、現在の14校の長寿命化・大規模改修の予算確保は極めて難しい
  - ・将来的な小中一貫校（義務教育学校）としての教育活動が可能敷地を持つ旧築上中部高等学校跡地・現合岩小学校（南部グラウンド等を含む）を活用し統合中学校・小中一貫校とする事が望ましい
  - ・中学校統合により空く、現八屋及び千束中学校を改修し、統合小学校とする事も可能と考える

## 5. 学校規模の適正化・適正配置（学校再編成(案)）

教育委員会において総合的に検討した結果、現在ある小中学校14校の大規模改修を行う前に、第一段階としての再編成を行った上で、さらなる児童生徒数の減少が現実のものとなってきた場合には、最終段階の再編成を行うことを検討するという2段階での適正化が望ましいと考えます。

### 第1段階

市内全体の学校を再編成する。

- 旧築上中部高等学校跡地に**統合中学校**を新設
- 現合岩小学校を**義務教育学校**\*に整備（増築・改修）
- 中学校統合後、現八屋中学校及び千束中学校をそれぞれ**小学校**に整備（改修）

### 通学区域(案)

学校名（仮称）	通学区域
豊前中央中学校	八屋中・角田中・千束中 校区
豊前北小学校	八屋小・宇島小・三毛門小 校区
豊前中央小学校	大村小・角田小・山田小・千束小 ・黒土小・横武小 校区
豊前南義務教育学校	合岩小・合岩中 校区

※一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校のこと。

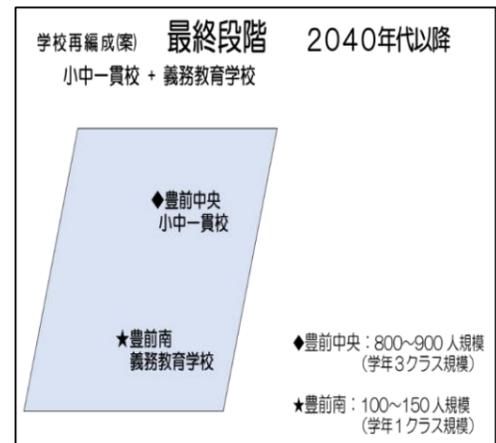
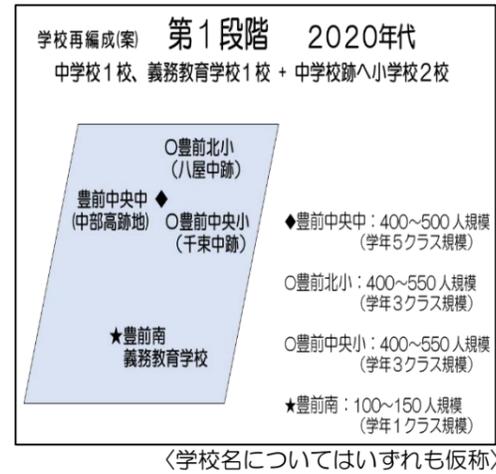
### 最終的な再編

- 1学年が100名程度の児童生徒数が現実的となる段階では、
- 統合中学校1校と小学校2校を**小中一貫校**とし、合岩小学校を改修した義務教育学校との**2校に再編成**することを検討する

## 6. 学校再編に伴う、検討・調整が必要な事項（例）

- ① 統合後の学校の校舎位置の決定
- ② 校名、校章、校旗、校歌、校則、校訓等の決定に向けた調整
- ③ 修学旅行や遠足等の行事、特色ある教育活動等の調整
- ④ 制服、かばん、その他学用品の調整
- ⑤ 教材、教具、備品、図書等の整理・廃棄、他校での利活用等の調整
- ⑥ 学校の歴史に関わり保存展示すべきものの選定・保存方針の決定（校旗・トロフィー等）
- ⑦ 学校保管金、PTA会計などの整理・引継ぎ
- ⑧ 記念式典の準備、実施
- ⑨ PTA規約の改訂、役員等の再選出
- ⑩ 統合後の学校運営協議会や学校関係者評価、学校評議員等のメンバーの調整
- ⑪ 学校医や学校歯科医等の配置に関する調整、各種非常勤職員の任用に関する調整
- ⑫ 通学区域に関する規則の改正、スクールバスの購入や運行委託、運行計画の策定
- ⑬ 廃校となる校舎・校地の跡地利用の検討

出典：公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引



## 7. これからの流れ

今後は豊前市立学校適正配置基本方針を基本的な考え方とし、住民説明会等においてさまざまなご意見をいただきながら基本計画（案）を作成していきます。基本計画策定後は保護者、地域、教職員、行政職員などで構成する開校準備委員会（仮）を設置し、開校に向けての検討事項について協議をおこないます。

学校の再編を進める際には、児童生徒とその保護者、住民の皆様には十分な説明と理解を得ることが必要不可欠です。学校の教育的役割、児童生徒数や学級数等の将来推計、学校の小規模化に伴う課題、再編の効果について、丁寧な説明を行い、学校再編の必要性についての共通理解を深めながら、関係者が一体となって進めていきます。

	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度
新設中学校（新築） 5クラス/1学年 築上中部高跡地	㊦ 基本計画	基本設計	実施設計	造成及び新築工事		開校	
義務教育学校（増築・改修） 1クラス/1学年 現合岩小学校		基本設計	実施設計	増築・改修工事		開校	
新設小学校（改修） 3クラス/1学年 2校 現八屋・千束中				基本設計	実施設計	改修工事	開校
	住民説明会		対象校 開校準備委員会（仮）				

豊前市においては、6. 学校再編に伴う検討・調整が必要な事項（例）の

- ①を基本計画時で検討します
- ②～⑫を開校2～3年前から段階的に開校準備委員会(仮)等で検討します
- ⑬は国・県・関係部署等とも協議し、最善策を目指します

### ㊦基本計画

設計・工事を進める上での根幹となる計画で、具体的な課題や条件を整理するなど場所や機能、概算工事費など具体的な案を示すもの

- 〔 統合小学校においては、現存の施設の調査や設備の配置等の検討など  
新設、増設するものに対しては、必要な教室数・設備にあわせた建物等の配置を検討など 〕



みやこ町立犀川小学校  
〒824-0231 福岡県京都郡みやこ町犀川本庄620番地  
TEL:0930-42-0022 FAX:0930-42-0063

香春町立 香春思永館  
KAWARA SHIEIKAN

